

東京高齢協 ニュース

2021年11・12月号 NO.188

URL www.t-koureikyou.or.jp
E-mail info@t-koureikyou.or.jp

Pick Up

- 総代会のお知らせ
- 23期を振り返って
- 文芸広場

総代会のお知らせ

第24期の総代選挙は立候補締め切りの10月18日までの立候補者が定数以内であったため全員の当選が決まりました。12月5日(日)、東京労働会館7階ラパスホールで第23回総代会が開催されます。12時受付開始、13時開会です。

11月24日に総代会議案書を総代の方々にお送りします。第23期事業報告と第24期事業計画が書かれています。決議は書面でも可能ですが、総代の方々のご参加をお待ちしております。

通常総代会招集通知書

生活協同組合・東京高齢協
理事長 田尻 孝二

本組合の第23回通常総代会を定款第60条、63条の規定に基づいて、下記のとおり招集いたしますので、ご出席くださるよう通知いたします。

記

- 日時：令和3年12月5日(日)13時開会(12時受付開始)
会場：ラパスホール(豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館7階)
- 会議の目的たる事項
- (1) 第23期(2020年10月1日～2021年9月30日)
事業報告、決算関係書類等承認及び剰余金処分案決定の件
監査報告
 - (2) 第24期(2021年10月1日～2022年9月30日)
事業計画及び予算決定の件
 - (3) 定款変更の件
 - (4) 監事監査規則の件
 - (5) 役員報酬限度額決定の件
 - (6) 議案決議効力発生の件

以上

永年勤続表彰

第21回総代会から20年以上高齢協でお仕事をしてくださった方々に表彰状とお祝いをお贈りしています。新型コロナウイルス感染に不安を感じながらのサービス提供、緊張を強いられる1年でした。感染防止に加え、利用者のみなさんの健康管理にも留意して、毎日の業務ありがとうございました。

今期は2名の方を総代会で表彰いたします。今後ともよろしく願いいたします。



東京高齢協の介護福祉事業所

生活協同組合・東京高齢協	03-5904-9011
東京こうれいきょう	03-5904-9011
東京高齢協 のぞみ	03-3886-3200
東京高齢協 世田谷訪問介護青い空	03-5426-6831
東京高齢協 ふじみ	03-6905-7858
東京高齢協 国立地域センター ふぁみり〜・さぼ〜と	042-577-0399
東京高齢協 町田地域センター	042-789-5303

東京高齢協指定管理者受託施設

信濃町シニア活動館	03-5369-6737
上落合地域交流館	03-3360-1414
山吹町地域交流館	03-3269-6189
新宿地域交流館	03-3341-8955
中落合地域交流館	03-3952-7163
高野台敬老館	03-3996-5135
いきがいデイサービス ひなた	03-3577-2800

入会案内

生活協同組合・東京高齢協は「最期まで自分らしく輝いて生きたい」の思いを実現する、ささえあいの協同組合です。

ぜひ東京高齢協の活動と一緒に参加しませんか？ 本部にご連絡ください！

- ① 所定の加入申込書に必要事項を記入してご提出ください。
- ② 出資金（1000円/1口）を1口以上お預けいただきます。

ためして脳トレ<答え>

- ①見 ②客 ③感 ④平 ⑤計 ⑥方

良いお年を
お迎え下さい



地域・活動グループからのお知らせ

ふじみサロン	03-6905-7858	★12月中止	板橋区富士見町39-9 ウエキビル
サロン木曾の里	042-789-5303	★12月中止	町田市本町田2507-7ハ-14
おひさまサロン	03-5904-9011(本部)	★12月中止	四谷三栄町14-5名倉堂ビル
こめカフェ	03-5426-6831(青い空)	★12月中止	世田谷青い空の隣
いよよ華やぐ倶楽部	03-5904-9011(本部)	★1月14日	定例会 本部会議室
版の会	03-5904-9011(本部)	お問い合わせください	
練馬かんらん	03-3999-3343(浜川)	★1月6日	初詣 神田明神と湯島天神
		★2月10日	ボーリング大会 共に 西武池袋駅1階改札口11時集合
自分史講座・朗読	080-9380-1204(佐藤)	お問い合わせください	

編集後記

11月になると年賀欠礼が届く。年を重ねるごとに友の家族からの知らせが多くなる。今年はコロナ禍の中で、家族でさえ病院に見舞いにいけなかったと聞く。寂しい限りである。最期を迎える家族までも分断してしまうウイルスの恐怖。今まで当たり前であった家族や友とのふれあいは、改めてかけがえのないことだったと気付かされた。

この頃手をつなぐ人たちを多く見かける。若い男女だけでなく、年配の方々も、もちろん親子も。

感染が少し落ち着いてきたら、できるだけ会いたい人に会いにいこう。手をつなごう。ふれあいを大切にしよう。

東京高齢協ニュース 2021年11～12月号

11月25日発行(通算188号)

生活協同組合・東京高齢協
理事長：田尻 孝二

〒170-0005 豊島区南大塚 3-43-12

Tel 03(5904)9011

FAX 03(5904)9012

Mail info@t-koureiyou.or.jp

URL http://t-koureiyou.or.jp/

このごろ思うこと

言霊（ことだま）

この詩は、毎月送られてくる近隣の小学校「たより」の記事で校長先生が引用していたものです。道灌山学園の創始者「高橋系吾」先生が、作られたものだそうです。

校長先生の文中には、「言葉には、遣った人の心が込められています。そして、その言葉にふさわしい言葉が返ってきます。やさしい言葉にはやさしい言葉が、傷つける言葉には傷つける言葉が返ってくるのです。」と書かれています。これを読んだときに、私が日常に使っている言葉は相手にとってやさしく聞こえているのか、どうなのだろうと思いました。

映画「2001年宇宙の旅」では、原始人が初めて骨を道具として使うシーンが描かれています。後に人類は意思疎通の道具として「言葉」を使うようになります。

自分の意思を繊細に伝える大変便利な道具となっていくます。そして現代に至り、言葉はたった一言で心が通じ合うこともあれば、たった一言で心に傷がつくこともある次元の高い道具となっています。私たちは会話の中で感情のまま使ってしまうがちです。いつでも言葉を大事に使う習慣が必要なのですね。

日本古来の言霊（ことだま）とは、その言葉に宿る不思議な力のこと。言葉には使った人の心が込められています。いつも一緒の家族、利用者、職場の同僚への言葉使い。相手を思いやる言葉にあふれた毎日を過ごしたいものです。

上落合地域交流館 佐伯俊悦

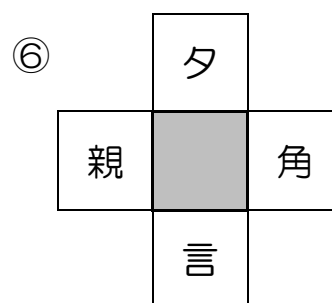
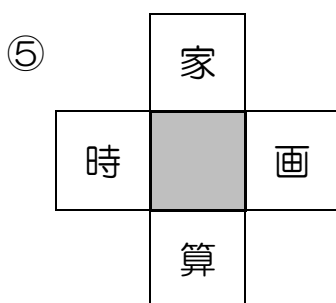
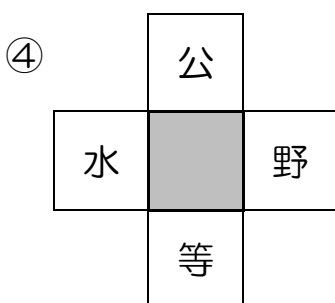
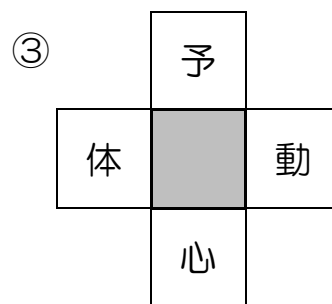
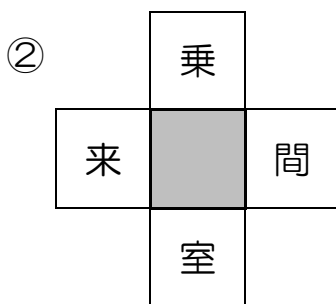
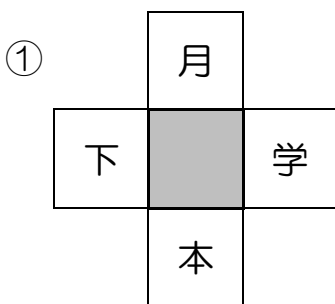
その一言で

高梁 系吾

その一言で 励まされ
その一言で 夢をもち
その一言で 腹が立ち
その一言で がっかりし
その一言で 泣かされる
ほんのわずかな一言が
不思議に大きな力を持つ
ほんの一寸の一言で

ためして脳トレ

Q 真ん中に漢字一文字を入れて熟語を完成しましょう！



☆答えは裏ページです。

第 23 期を振り返って

● コロナ禍

令和 2 年から始まったコロナ禍は社会に深刻な影響を与え、私たちの生活を大きく変えています。この 1 年、組合の事業や活動は新型コロナ対応を軸として回りました。

事業現場では感染防止策を徹底しています。職員の毎日の検温実施、急な発熱に備えて検体検査キットを用意しました。光触媒空気清浄機、自動手指消毒装置なども設置し、感染防止の環境づくりにも努めました。

委託事業の高齢者交流施設では主催事業や入浴の中止など縮小を余儀なくされました。介護現場では利用者の感染により職員が濃厚接触者になることもあり、不安と背中合わせの事業運営になりました。

有難いことに、どの職場からも職場内感染者が出ていません。管理者、館長はじめ全職員の努力の成果です。

10 月頃から、感染の鎮静化に伴い事業所も施設も落ち着いた状況を取り戻しつつあります。

しかし、オンライン会議の定着、在宅勤務などの多様な働き方など、コロナ禍がもたらした新しいかたちは様々な部分に残っていくでしょう。



● 事業の収支

第 23 期は前期に引き続き黒字決算となりました。事業収益は補助金等も含め前期より 1,600 万増の 3 億 5,000 万円となりました。経常剰余は 2,150 万円です。法人財政の安定は特に公の事業の受託の際には大きな力となります。

黒字の最大の要因は第 21 期から取り組んできた経営改善の結果です。次に法人事業経費の減少も挙げられます。しかし、こちらは本部体制の弱体化というマイナス面もあります。

● 介護事業の経営改善

福祉事業収入は、前期より 870 万増収となりました。増収の要因は、4 月から取得した特定事業所（町田、世田谷、国立）、地域密着型通所介護（ふじみ）の経営改善、委託事業の拡大があげられます。

近年の介護報酬の改定は、単価を上げるのではなく、様々の加算で実現することが多くなっています。特定事業所加算は事業所の体制整備を要件としていますが、人件費としての支出が義務付けられている処遇改善加算と異なり、事業所の収益で残ります。この加算が事業所収支の黒字化につながりました。

ふじみは、コロナ禍の中でも利用者を増やしました。通所介護で前期比 177%、総合事業も 110%増となりました。職員の丁寧な対応と楽しいプログラム、元気になる体操などこれからも利用者は増えていきます。地域の子どもたちとの交流もコロナ禍でありながら非対面で続いています。住民主体の B 型通所として同じ場所で開かれている地域高齢者の集まりは残念ながら休止状態です。

第 22 期から取り組んだ小規模事業所の統廃合を今期も進めました。東京高齢協・葛飾と東京高齢協のぞみの統合です。隣接した葛飾区と足立区の介護事業所を 7 月に統合しました。葛飾は、のぞみ葛飾支所として活動しています。これによりのぞみは、月に訪問介護 230 万、障害サービス 30 万、居宅 60 万の計 320 万の事業所となりました。事業拡大にはそれなりの規模が必要です。ある程度の規模になることで、今まで申請できなかった加算なども取得できるようになります。

高齢協の介護事業所は第 23 期末で訪問介護 5、居宅支援 1、地域密着型通所介護 1 となりましたが、1 事業所の規模が大きくなっています。



●委託事業

練馬区いきがいデイサービスは、令和3年4月から新たに会場として練馬区はつらつセンター関が加わりました。これにより5か所を運営することになりました。コロナ禍で第23期中は会食が中止となりましたが、参加者の方はできるだけ休まないようにと頑張っていました。11月から1年半ぶりに会食が再開しましたが、以前のように会話を楽しむことはできません。それを補うためにスタッフは毎回楽しいプログラムを考えています。

足立区ふれあい遊湯う事業は、緊急事態宣言中は中止となり、第23期は207回しか開催できませんでした。委託回数の半分です。令和3年9月13日から定員をかなり少なく設定して再開しました。また、飲食も中止のため開催時間も短くなっていますが、参加者はコロナワクチンを積極的に接種して、再開を心待ちにしていました。職員は感染防止ガイドラインを守って安心安全に開催できるよう努めています。

●指定管理事業

令和2年7月からコロナ禍での館運営が再開されました。新たな日常での運営はそれまでの館の状況を一変しました。まず風呂の利用が中止され、館事業にも制限がつかしました。定員の削減、麻雀やカラオケの中止などです。

1日100人以上の高齢者で賑わっていた館は、すっかり火が消えたようです。しかし、職員は地域の高齢者がいつ来館されてもよいように、館内を整備し続けていました。また自宅に閉じこもりがちになっている利用者へ手紙や電話で声掛けを続けました。

10月からゆるやかに制限が解除され、館は少しずつ以前の顔を取り戻し始めています。

●新規事業の取組み

前期から始めた館長中心の新規事業への挑戦は、今期はその活動を大きく広げました。杉並区、品川区、大田区、墨田区、練馬区の5区に挑戦しました。公募のノウハウを確立できた1年でした。第24期も引き続き挑戦していきます。



●組合員

第23期末の組合員数1,358人と大きく減少しました。新規加入者は16人に留まり、そのほとんどが職員です。組合員活動からの加入がなかったのはコロナ禍によるサロン活動等の停滞が理由です。利用者の加入は2人でした。脱退者は増加しています。自由脱退は高齢を理由とするもの、法定脱退は組合員本人が亡くなられた場合が多くなっています。

見なし自由脱退は出資金現在高通知書の不着を根拠に2年間連絡のつかない組合員を自由脱退者と見なし組合員整理を進めるものです。第23期は158人を対象とし組合員減少の最大の要因となりました。組合員数の減少に伴い出資金額も800万円台を割りました。この傾向は今後も続くと予想されることから、第24期は生協強化の実効性のある方策が必要です。

コロナ禍により組合員活動は休止状態が継続しています。交流が途切れて家に閉じこもりがちの高齢者のつながりを断ち切らないために、電話や便りなどで声かけを続けています。

組合員だより

長谷ユリ江さんを偲ぶ

私は山吹町地域交流館で長谷さんと数年間一緒に働いていました。突然の訃報に接し、元気だった頃の長谷さんの姿が思い起こされ、今でも信じられない気持ちです。ピツとした真っ直ぐな姿勢、ハキハキとした声にヒマワリのような表情。何事にも「大丈夫よ。大丈夫！どうにかなるわよ」といつも前向きで、私自身考え方を見つめ直すことができ何度助けられたことかわかりません。

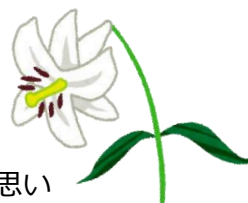
フラダンスを愛し、優雅に踊っていた姿がとても印象的です。高齢協のイベント「春のつどい」では、ステージの上に立つ姿をいつも心待ちにしていました。そして、仕事とは別に、着付けや、元気になれる「ニンニクスープ」のレシピなど、多くのことを教えてくれました。

長谷さんのおかげで、私も着物を楽しむようになり、スープも得意料理のひとつになりました。

長谷さんは、今でも私の憧れの存在です。

どうぞ、安らかに眠りください。 合掌

新宿地域交流館 石井友恵



東京フロイデ合唱団

岡田光好

待ちに待った練習が再開されました！
10月8日（金）夜、としま区民センターの多目的ホールは久しぶりに、東京フロイデ合唱団の歌声でわき上がりました。いつもの火曜日ではなく金曜日だったにもかかわらず、秋季練習登録者129名のうち、約100名の団員が集まりました。

緊急事態宣言が解除されたというものの、席を一つ置きにするとか、マスク着用など感染対策を十分にしていた練習でしたが、皆明るい表情で練習に励みました。



いよよ華やぐ倶楽部

本多七海

2年にも及ぶ自粛生活で文化活動は深刻な停滞と消滅を余儀なくされました。会員個人に至っては亡くなる人、認知症になる人など思いもかけない事態に陥ってしまいました。自由に行動出来ない高齢者にとってどれだけの打撃になったことか、...

そして待ちに待った活動再開！

10月5日、1年ぶりに例会を開催しました。8名の参加者は、

- ☆嬉しくて眠れなかった！
 - ☆皆の顔を見て元気が出た！
 - ☆どんな時にもおしゃれをしたい！
- とメッセージを発しました。



活動報告

毎年、ふじみでは季節のレクリエーションとして“干支の張り子制作”を行っています。今年も10月の下旬から、来年の干支である寅の張り子の制作が始まりました。土台にはおもちゃのガチャガチャのカプセルを使い、ちぎった和紙を貼った後、顔や耳などのパーツを付けていきます。

利用者の皆さんから「これをやり始めると年末が近づいてくるって思うのよ」とのお声もあり、ふじみでは秋から冬への移り変わりを告げる風物詩となっています。今年も色々な表情の寅が続々と完成しています！



ふじみ 田上絢子

☆あちらを立てればこちらが立たず☆

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みが始まり、年越しとともに2年を迎えることとなりますが、当敬老館もマスクの着用、手指消毒、3密の回避など各種制限のもと館運営に励んでいる昨今です。とりわけ、当敬老館の最大の特徴でもある唯一の大広間を来館者の皆さんにいかにか気持ちよくご利用いただくかが、最大かつ恒久的な課題であります。



囲碁、将棋、麻雀、カラオケ、テレビ視聴等々、それぞれの目的で来館されるご利用者からは、麻雀卓を増やして欲しい、カラオケ利用時間を延ばして欲しい、囲碁・将棋の盤面を増やして欲しい等々、さまざまな声が日々、職員へ要望として入ってきます。「あちらを立てればこちらが立たず」と共存の日々この頃です。

高野台敬老館 高橋龍吾

活気が戻りつつある新宿地域交流館

コロナ感染症感染拡大防止の為、館における活動が大幅に制限され、長らく利用者の皆様にも我慢を強いてきましたが(夜の街「歌舞伎町」に近い立地のためか来館者数はコロナ前の一割程度に落ち込む)、漸く感染者数が減少し、制限緩和の方向になりました。館主催の事業再開に加え、カラオケ機の利用もOKとなり(当館はカラオケを楽しむ団体が多いのが特徴)、9月までは空欄が多かった当館のスケジュール表も、一転し、8割程度まで埋まるようになってきました(コロナ前は100%稼働)。利用者の館に対する期待・要望と感染リスクとのバランスを慎重に考えながら、安心・安全を優先に、10月から、「新宿いきいき体操」、「健康体操」、「男のストレッチ」を中心とした健康増進・介護予防事業や座学(古典講座やスマホ講座)・映画プログラムから再開。それに加え、11月にはフレイル対策強化の一環として、「麻雀教室」や「脳トレ・トライアスロン」を、利用者の生活ニーズに応じて、「スマホ何でも相談会」を追加。12月には、カラオケを待ちわびる個人利用者(団体未加入者)の声に応え、「ひとりカラオケ」(20分歌い放題)を、コロナ前に人気のあったプログラムの「早口言葉・音読」や「トランプを楽しむ」を再開予定。

従来通り感染防止策を十分に行いながら、徐々に利用者の皆さんの期待する声に応えるようにしてゆく予定です。コロナ禍で採用された新しい職員

(コロナ前の一日平均50名程度の来館者という活気を知らない)も、徐々に戻ってきている利用者の笑顔や楽しげな会話に勇気づけられながら、事業再開に積極的に動き始めています。まだまだ油断できない状況ですが、職員一同、利用者の元気を頼りに、コロナをこのまま封じ込めたい意気込みです。



新宿地域交流館 岩村隆生

文芸広場

今回はたくさんの句、ありがとうございました。面白い句、興味深い句、考えさせられる句、なるほどと思わせられる表現もたくさんありました。今後も投稿お願いいたします。



布団から 出るのがつらい 神無月

鈴木順弥

町田地域センター

水底の 落葉の色の 揺らぎかな

作田志津子

青い空

友は孫 私は今年も 猫自慢

かわらなでしこ

いよよ華やぐ俱樂部

母の笑み 薄氷ほどの 安堵ゆゑ

K 道子

国立ふあみりく・さぼくと

スマホ持ち 母もようやく デジタル化
表彰台 キラキラネームも E 難度
土屋彰子
樋口美枝
老齡化 目覚め早期化 徳は無し
天野岳章

中落合地域交流館

自炊増え 醤油 味噌 酒 空になる
佐藤拓
マスク越し 距離をとりつ 立ちばなし
小島はるみ
フリテンは シールド越しと 言い訳し
豊田昌彦

信濃町シニア活動館

おらが猿 捕獲したけりや 印を取れ
宮城由美子
もういいか？ まだまだ頑張る チヤリ通勤
上田賀之

山吹町地域交流館